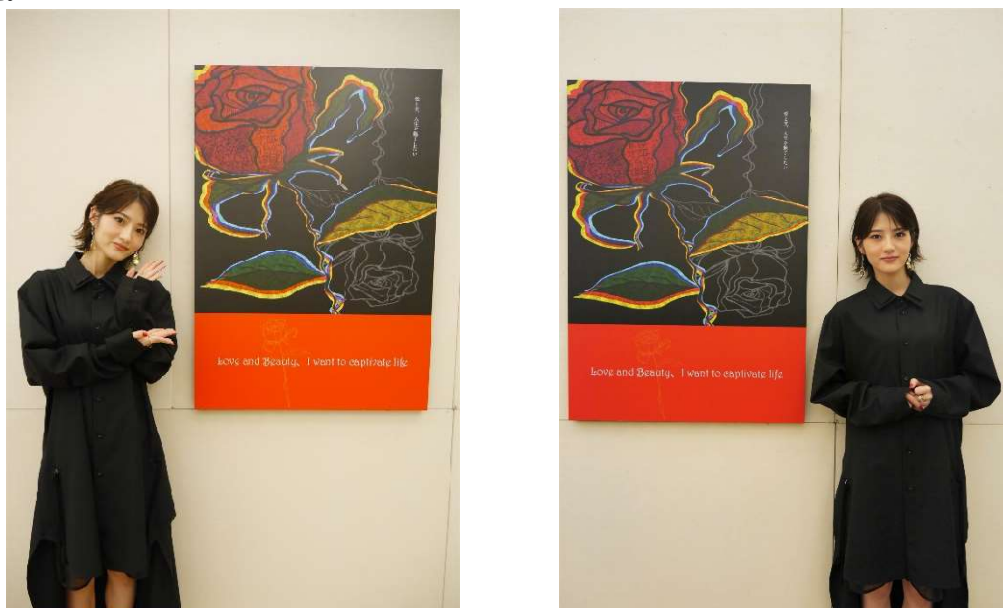


若月佑美が「第106回 二科展」で初の特選賞受賞！ デザイン部では著名人初の会友推挙も決定!!

女優・モデルとして活動する若月佑美が、この度「第106回 二科展」(デザイン部)に作品を出品し、【特選賞】受賞が決定いたしました。今回で通算9回の入選となり、自身初の入賞となります。さらに、二科会デザイン部では著名人初となる「会友推挙」も決定いたしました。



二科展は、日本の美術家団体のひとつである公益社団法人二科会(にかい、NIKA ASSOCIATION)が、毎年開催。絵画部・彫刻部(公益社団法人二科会)・デザイン部(一般社団法人二科会デザイン部)・写真部(一般社団法人二科会写真部)の4部門で構成されています。審査においては、氏名、県名は伏せて行われ、入選、受賞作品が選ばれるとのこと。デザイン部ではA～Dの各部門で、入選作品の中から大賞1作品、特選賞3作品、奨励賞4作品が選ばれるそうです。

若月は、2012年(第97回二科展)に初出品し、初入選。以降、2019年の第104回まで8年連続入選を果たしました。2020年は、新型コロナウイルス感染拡大により、二科展の開催が中止に。2021年は出品せず、今回3年ぶりの出品となりました。

受賞作品はA部門(自由テーマによるポスター表現)に出品されたB1サイズの作品。「愛と美、人生を魅了したい」(Love and Beauty, I want to captivate life)と題され、黒の背景に大輪の深紅のバラが描かれています。新聞のデザインからインスピレーションを受け、花びらや葉の中に文字をたくさん並べて一つのデザインにしたそうで、上の花びらには欲、自我など強い言葉が散りばめられ、下の葉には夢、慈愛などポジティブな文字が散りばめられています。「どちらも人として持っているべきものなんですけど、そのバランスが崩れると人って善にも悪にもなるなって思って、上の方には制御して持っているべき人間の本质、下には自分の意志で出さないといけない人間の持っている夢とかそういう本質を描かせていただきました」と話す若月。今年6月に仕事の合間を縫って、少しずつ取り組み、2週間程で仕上げた作品は、原点回帰となるものだったと語ります。「いろいろなことを経験していく中で絵を描き、どういう作品が人に求められているか、どういう作品が評価されるのかというようなことを考え始め、絵を描くことを難しいと感じてしまう自分がいたので、今回は自分の描きたいものをただ描いてみようという作品にしました。その作品が特選という賞をいただいたことは、自分の中でもこれからの人生の誇りにできるなと思いましたが、もっと頑張りたいという励みにもなりました」と素直に喜びました。また、実家にはたくさん作品があるとのこと、「いつか個展で見ただけだったら」と展望も口に出しました。

若月のこれまでの実績と今回の特選賞受賞により、審査会後の二科会デザイン部の理事会では「会友推挙」も決定。会友になるのは来年となりますが、デザイン部としては著名人初の会友となります。(絵画部には、工藤静香氏、岸ユキ氏が会友として在籍)

今年の「第106回 二科展」は、9月7日(水)～9月19日(月・祝)まで国立新美術館で開催。その後、大阪展→東海展(名古屋展)→京都展→広島展→鹿児島展→福岡展と、全国巡回展を、2023年3月19日まで開催予定です。

【若月佑美 コメント】

今回は花言葉にこだわり、テーマに薔薇を選びました。赤色の薔薇の花言葉は愛情や美貌、美といった意味合いがあるそうです。人生と薔薇を照らし合わせたときに、ちゃんと自分の心の中にその花言葉を持っていれば、人と接する時も愛情を大切にすると、美しくいるというも容姿だけでなく、人生そのものを美しくしようと、人としても素敵になれるのかなと思いました。そんな、薔薇から学んだ思いを今回、描かせていただきました。

特選という賞をいただけたことは、率直にすごく嬉しかったです。これまでは入選をいただけており、それも嬉しかったのですが、今回はまた一つ上の段階で選んでいただけたことがとても嬉しかったです。

今回の作品は自分の中で原点回帰というか…。いろいろなことを経験していく中で絵を描き、どういう作品が人に求められているか、どういう作品が評価されるのかというようなことを考え始め、絵を描くことを難しいと感じてしまう自分がいたので、今回は自分の描きたいものをただ描いてみようという作品にしました。その作品が特選という賞をいただけたことは、自分の中でもこれからの人生の誇りにできるなと思いましたし、もっと頑張りたいという励みにもなりました。

私の作品で誰かの力になれるならなりたいですし、今後は自分の中の自分の想いだけでなく、いろいろな方の想いも絵にできるようにしていければと思っています。

★第106回 二科展

2022年9月7日(水) ～～9月19日(月・祝)

国立新美術館 東京都港区六本木 7-22-2

<https://www.nact.jp/>

若月佑美 (わかつき ゆみ)

1994年6月27日生まれ。静岡県出身 O型 身長157.7cm

女性ファッション誌 Oggi 美容専属モデル。

2011年から乃木坂46で1期生として活動し、2018年11月にグループを卒業。

その後は女優・モデルとして活動の場を移し、ドラマでは、『今日から俺は!!』(日本テレビ)、『私の家政夫ナギサさん』(TBS)、『共演NG』(テレビ東京)などに出演。

映画でも『ヲタクに恋は難しい』、『今日から俺は!! 劇場版』など、出演作多数。

2020年「Oggi」6月号からは同誌美容専属モデルを務め、2021年7月には初の単独表紙登場(9月号)を果たした。オンラインサロン『未開発区域』も開設。二科展にて8年連続入選するなど、アートにも才能を発揮。

2021年9月に2nd写真集『アンド チョコレート』発売。

2022年1月よりドラマ『ユーチューバーに娘はやらん!』(テレビ東京)、3/24配信のNetflix映画『桜のような僕の恋人』、4/29公開の映画『劇場版ラジエーションハウス』に出演。6月上演の舞台『薔薇王の葬列』ではリチャード役で主演を務めた。



© Zest, Inc.

【Official Site】<https://yumiwakatsuki.com/>

【Instagram】https://www.instagram.com/yumi_wakatsuki_official/

【Twitter】https://twitter.com/WAKA_Y_official

【YouTube】https://www.youtube.com/channel/UCJwW_2WpiTIUrGeIpZauDgg/about

本件に関するお問い合わせ

株式会社ゼスト

E-mail info@zest-corp.com